

崇城大の科学実験びっくり 「S+」パートナーも交流

わくわくサマースクールには、学びのコミュニティサイト「S+」で連携する企業や団体も駆け付け、TOMOサポたちと交流を深めました。

崇城大（熊本市）は、光に反応すると色が変わるビーズを使った科学実験教室を特別に開講。手作りのプレスレットを日光や紫外線の機械に当てると、無色だったビーズが黄色や紫色に変化。しばらくすると無色に戻る様子に、子どもたちはびっくり。

講師の工学部ナノサイエンス学科の伊藤謙之介教授は、光が紫外線カットのサングラスを通してビーズにあたると、色がかわりにくなる実験も披露。「作ったプレスレットを身につけておけば、紫外線の強さを普段から知ることにつながります」と説明しました。

また、大海水産（熊本市）は子どもたちとじゃんけん大会で交流。廃食用油を回収してバイオディーゼル燃料（BDF）を製

造するバイオエネルギー九州（同）、高齢者介護施設を展開する松栄産業しょうぶ苑グループ（同）も一緒に盛り上げました。